



[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

【인용예2】

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-75213

(P2002-75213A)

(43) 公開日 平成14年3月15日 (2002.3.15)

(51) Int.Cl.

H01J 11/02

重別記号

F i

H01J 11/02

サーチワード(参考)

B 5 C 0 4 0

請求項 1 請求項 2 請求項 3 請求項 4 請求項 5 請求項 6 請求項 7 請求項 8 請求項 9 請求項 10

(21) 出願番号 特願2000-286042 (P2000-286042)

(22) 出願日 平成12年9月1日 (2000.9.1)

(71) 出願人 530132706

富士通日立プラズマディスプレイ株式会社

神奈川県横浜市高津区坂戸3丁目2番1号

(72) 発明者 金澤 健一

神奈川県横浜市高津区坂戸3丁目2番1号

富士通日立プラズマディスプレイ株式会社

(72) 発明者 黒木 正樹

宮崎県東諸県郡国富町田原1815 九州エフ

エイチビー株式会社内

(74) 代理人 100070160

弁護士 伊東 忠彦

Pサーチワード(参考) B5C40 P401 Q303 Q314 G001 G002

MA02 MA12 MA26

(54) 【発明の名称】 プラズマ表示装置

(57) 【要約】

【課題】 プラズマ表示装置において、放電開始電圧および駆動電圧を抑制しつつ、解像度を向上させる。

【解決手段】 バス電極から発出する放電電極の先端部に斜切で形成される縁部を、150 $\mu$ m以上200 $\mu$ m未満の長さで形成する。

本発明の第1実施形態によるプラズマ表示パネルの構成を示す事

